



過去の体験講座の様子

瀬戸市記者会、豊田市政記者クラブ、
豊田市政記者東クラブ同時

2026年7月10日（金）

あいち産業科学技術総合センター
管理部管理課

担当 松田・岡田

ダイヤルイン 0561-76-8301

愛知県経済産業局産業部産業科学技術課
管理・調整グループ

担当 中西、高玉

内線 3405、5389

ダイヤルイン 052-954-6347

夏休み、世界に一つだけの「乾電池」を作ろう！

「知の拠点あいち」こども科学教室 2026 の参加者を募集します

愛知県では、夏休み期間中の2日間、「知の拠点あいち」（豊田市）において、小中学生を対象とした「こども科学教室 2026」を開催します。つきましては、参加者を募集しますので、お知らせします。

当日は、一般社団法人電池工業会の協力により、本物の乾電池とほぼ同じ材料・部品を使って、子どもたちが自分だけの「オリジナル乾電池」を作ります。完成した乾電池で豆電球を光らせる体験を通じて、電気の仕組みや乾電池の働きを楽しく学びます。

また、あいちシンクロトン光センター（放射光で材料等を高精度に分析し、ものづくりを支援する施設です。）や3Dプリンタなど、普段はなかなか見ることのできない研究施設を巡る見学ツアーを行います。参加費は無料です。夏休みの自由研究のきっかけづくりにもなりますので、是非御参加ください。

1 開催概要

区分	日時	内容	定員	対象者
第1回	2026年8月20日（木） 午後1時30分から 午後4時20分まで ※午後1時から受付開始	・体験講座 キミだけの「オリジナル乾電池」を作ろう！ <協力> 一般社団法人電池工業会 ・見学ツアー 知の拠点あいちの施設見学	30名 (参加児童・生徒数) 事前申込制 申込先着順	小中学生 ※小学校2年生以下の方は、保護者同伴で御参加ください。
第2回	2026年8月27日（木） 午後1時30分から 午後4時20分まで ※午後1時から受付開始	同上	同上	同上

※ 定員は参加児童・生徒のみの人数です。保護者及び同伴者（未就学児等）は含みません。

※ 運営の都合上、保護者を含め1グループ3名まで（参加児童・生徒は2名まで）とします。

※ 乾電池づくりの作業中に、材料等が衣服に付着する場合がありますので、汚れてもよい服装で御参加ください。

2 会場

知の拠点あいち（あいち産業科学技術総合センター）

豊田市八草町秋合 1267-1 電話：0561-76-8301

（東部丘陵線リニモ「陶磁資料館南駅」下車すぐ）

・お車でお越しの方は、敷地内駐車場を御利用ください。

3 参加費

無料

4 申込について

(1) 申込方法

「こども科学教室 2026」への参加を希望される方は、次のいずれかの方法でお申込みください。

申込方法	内 容	備 考
あいち電子申請・届出システム	愛知県公式 Web ページに掲載する申込フォームからお申込みください。	スマートフォン・パソコンからお申込みできます。
電子メール	参加申込書に必要事項を記入し、電子メールに添付して送信してください。 参加申込書は、愛知県公式 Web ページからダウンロードできます。	件名は「こども科学教室参加申込み」としてください。
FAX	参加申込書に必要事項を記入し、FAX で送信してください。 参加申込書は、愛知県公式 Web ページからダウンロードできます。	パソコン等を使用できない環境の方にも配慮して受け付けます。

(2) 申込期間

2026年7月10日（金）午前10時30分から2026年8月14日（金）午後5時まで

※各回とも申込み先着順で、定員に達し次第、申込期間中であっても受付を終了します。

※申込み受付後、申込時に記入いただいた連絡先へ、担当者から参加の可否を連絡します。

※受付順は、申込方法にかかわらず、当センターに到達した日時順を基本として取り扱います。

(3) 申込先・問合せ先

あいち産業科学技術総合センター 管理部管理課

電話：0561-76-8301 FAX：0561-76-8304

電子メール：acist@pref.aichi.lg.jp

愛知県公式 Web ページ URL：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/acist/kodomo-kagaku2026.html

5 注意事項

当日は係員が広報目的の写真・動画等を撮影し、愛知県及び協力団体の広報媒体に使用させていただきますので、あらかじめ御了承ください。

また、会場内の安全確保、参加者への配慮及び撮影場所等の調整のため、取材を希望される場合は、事前に上記問合せ先まで御連絡ください。

6 参考

「知の拠点あいち」は、大学等の研究成果をものづくり産業の技術革新につなげる研究開発拠点です。本教室では、子どもたちがものづくりや科学技術に親しむ機会を提供します。